

広島大学学術情報リポジトリ  
Hiroshima University Institutional Repository

Title	スナップ
Author(s)	児童の言語生態研究会,
Citation	児童の言語生態研究 , 6 : 60 - 60
Issue Date	1973-11-30
DOI	
Self DOI	
URL	<a href="https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00045074">https://ir.lib.hiroshima-u.ac.jp/00045074</a>
Right	
Relation	



。二才の女の子

夏、暑いのでノースリーブの洋服を着せたところ、  
「ママ、これ、トンネルないよ。トンネルないよ。」

。同じく

どこでおぼえたかは、定かでないが、

「世界中ー。」とききながら、家中を走りまわ  
っている。「世界中ー」という語をおぼえたのか？

「世界中ー」とききぶるとき、家中を走りまわること  
とおぼえたのか？

。二年十ヶ月

風呂に入っていて、自分のハソをしげしげとなが  
めながら、

「ママ。おハソの中にはね。ごはんやおつゆがあ  
るんだよ。」

。チパートの食堂で、お子さまランチを食べながら

「お子さまランチって、いくつまで食べていいの  
かなあー。」

。「ねえ、元ちゃんてせんしつでしょ。せんしつで  
しょ。」

よく聞いてみると、親切の意。

。祖父に、話を読んでもらいながら、

ママ「ねえ、おじいちゃんて、お話上手でしょ。」

元子「うん、でもインチキももたらうだよ。たろ

うとか、じろうとか言うんだもん。」

。風邪をひいて、鼻汁をたらしながら、

「ねえ、お鼻がすべるよ。お鼻がすべるよ。」

。テレビでなぞなぞをおぼえ、

祖母「たねをまかないでも、はえるものなあに」

元子「歯」「あたーり」

元子「ねえ。やかなくても食べられるものなあに。  
大人「……」

SNAP

## スナップ

SNAP

元子「それはやきのりです」「あたーり」

ここまでは無難だったが

元子「ねえ、すわるものなあーに。」

ママ「いす」

元子「あたーり」

。新編の親戚へ行く日

元子「ねえ。ママ。新編の家は、むかしだね。」

ママ「えっ」

元子「新編の家は、むかしだって言ったの」  
新編の親戚の家は、自分の家より確かに古い。

（飯住良夫氏報告）

。小学校二年生の男の子

いつも兄という字を兄と書く。

T「この字は、こうなのよ。いつもまちがえてい  
るじゃない。」

O「だって、うちのおにいちゃんけんかすると、  
いつもつを出すんだもの。にくらしいから  
さ。」

（竹村房代氏報告）

。小学校一年生の女の子

ピアノの練習をしていて何度も何度も同じ所をま  
ちがえる。

「がんばるね。」

「やせがまんだ、やせがまんだ。」

「がんばる？ やせる？ がまん？」

（山口和子氏報告）

。小学校一年の男の子

ママ「人間の体は、血と肉とで、できているんで  
すよ」

「フーン」

ある日その子がけがをした。そのなきぶりのすこ  
いこと。

ママ「たいしたことないでしょ」

「だって損しちゃう。損しちゃう。」

出る血を一生懸命なめている。

（小泉節子氏報告）